

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	魅力ある商業地づくり				シート番号	015-010
担当部署名	産業振興	局	商工労働	部	商業流通	課 評価責任者(課長名) 新村

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	4	産業を振興し、地域の持続的発展を支えます	後期実施計画の位置付け
			施策	5	まちの魅力向上につながる商業機能の充実	有
	2	事業開始年度	昭和 38 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	中小小売商業振興法等			
	4	関連計画	堺市産業振興アクションプラン			
5	事業実施の経緯	本市では消費が流出傾向にあり、販売力が低下傾向にあることから、地域住民の利便性、快適性、安全性等、商業地の魅力を高める取り組みを進める必要がある。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市内商店街、小売市場及び地域住民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	商店街等が取り組む商業基盤整備等の事業実施を支援することにより、地域住民の買物利便性の向上に寄与するとともに、魅力的な商業地の形成を促進する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	市内商店街、小売市場等が取り組む商業基盤整備等の支援を行う。 ・商業共同施設設置事業 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )			
10	直接実施以外の主な支出先	商店街等				

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	4,609	1,073	1,705	1,435	1,669	10,411	5,250	
主な事業費内訳	商業共同施設設置事業	千円	4,500	1,056	1,500	1,330	1,500	10,300	5,100
		千円							
		千円							
		千円							
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他( )	千円							
一般財源	千円	4,609	1,073	1,705	1,435	1,669	10,411	5,250	
12 人件費 (b)	千円	2,460	2,460	2,460	2,788	3,321	3,321	3,198	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	7,069	3,533	4,165	4,223	4,990	13,732	8,448	

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	魅力ある商業地づくり	シート番号	015-010
-------	------------	-------	---------

### ≪IV. 評価(測定・分析)≫

#### ロジックモデルの考え方



#### 事業の活動実績や成果

		令和元年度実績						
活動実績と成果	14	商店街所有のアーケード改修に対する補助事業の利用が4件あった。事業の実施により、各商店街における買物環境の利便性、安全性の向上を図ることができた。						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		共同施設の改修等の事業件数	件	目標値	3	3	3	3
				実績値	3	3	4	
				達成率	100%	100%	133%	
	評価			良い	良い	大変良い		
	算出方法・設定根拠など		商店街、小売市場等が取り組む共同施設の改修等に対し補助を行った件数					
	16	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		目標値						
		実績値						
達成率								
		評価						

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	共同施設の改修等の事業件数	件	3	3	4
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,516	4,118	13,621
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	1,172,000	1,372,667	3,405,250
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

#### 業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19	活動指標の目標は達成することができた。本事業は、商業者が主体的・積極的に実施する商店街のハード整備事業などを支援している。商店街は、より安心で安全なまちづくりに向けた設備の整備を積極的に行っており、その結果、商店街のイメージアップにも繋がっている。	

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	魅力ある商業地づくり	シート番号	015-010
-------	------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 新型コロナウイルス感染症拡大により、商店街を取り巻く情勢は厳しく、社会経済活動を取り戻すためにも、商店街等への支援は必要である。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 3年毎に実施している商圏実態調査(前回実施平成30年度)の買物動向アンケート結果によると、「塚の魅力的な街づくりのため、商店街にどんなことを期待しますか。」という質問に対し、「塚の名所となるような特色のある商店街にしてほしい」「火災報知機や防犯カメラ、AEDの設置など、安心安全な商店街づくりに取り組んでほしい」等の声があり、市民ニーズに応えられなくなる。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 地域住民の買い物利便性の向上及び魅力的な商業地形成のためには、基盤整備事業に対する支援は必要であるため。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 本支援は、アーケードの改修補強工事への補助など社会経済活動の維持に必要であるため。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/> ) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 ( ) 関連事業名 ( ) ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>理由・説明</b> 必要に応じて情報共有を行い、国、府の施策の活用を促すとともに、国、府では行うことができない、細やかな支援を実施している。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
	所見	商店街は、安心で安全なまちづくりに向けた設備の整備を積極的に行っており、その結果、商店街のイメージアップにも繋がっている。このような基盤整備などのハード事業とイベントなどのソフト事業を連携させ、いかに地域の賑わい創出につなげていくかが課題となっている。 国、府等の支援策と本市の支援策を連携させながら、事業者自らの発意による商店街活性化事業を促進する。		